

スリップ事故発生マップ（北陸自動車道 流杉PA～小杉IC）

公開用

■車両スリップ事故発生箇所

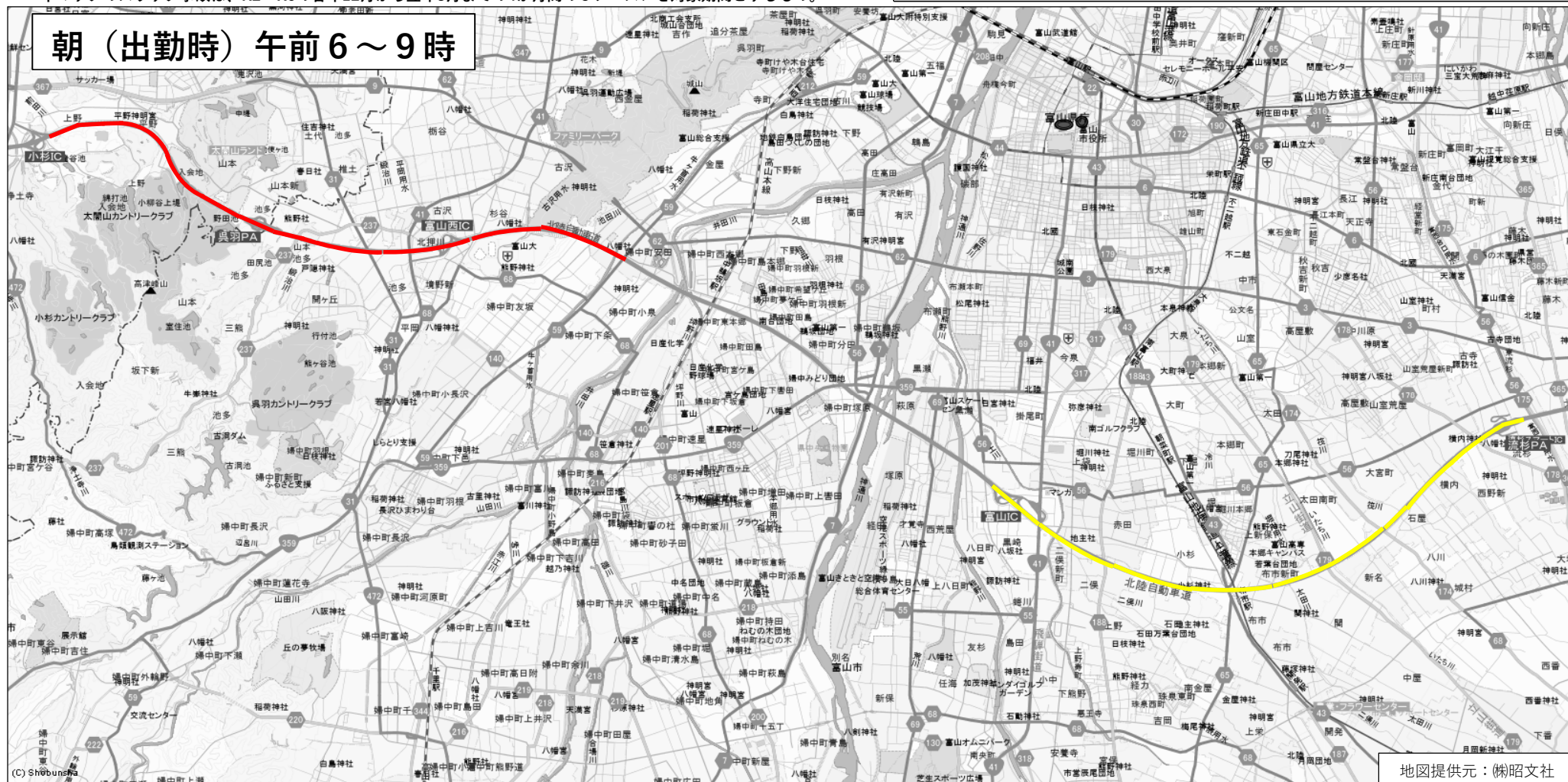
凡例	 事故多発区間 (10件以上のスリップ事故があった区間)	 事故注意区間 (相当数のスリップ事故があって、注意を要する区間)
----	--	---

特徴

北陸自動車道 流杉PA～富山ICは、スリップ事故が多く注意を要する。また、牛ヶ首用水上～小杉ICは、スリップ事故が多発しており、特に注意を要する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。

朝（出勤時）午前6～9時



地図提供元：(株)昭文社

■車両スリップ事故発生箇所

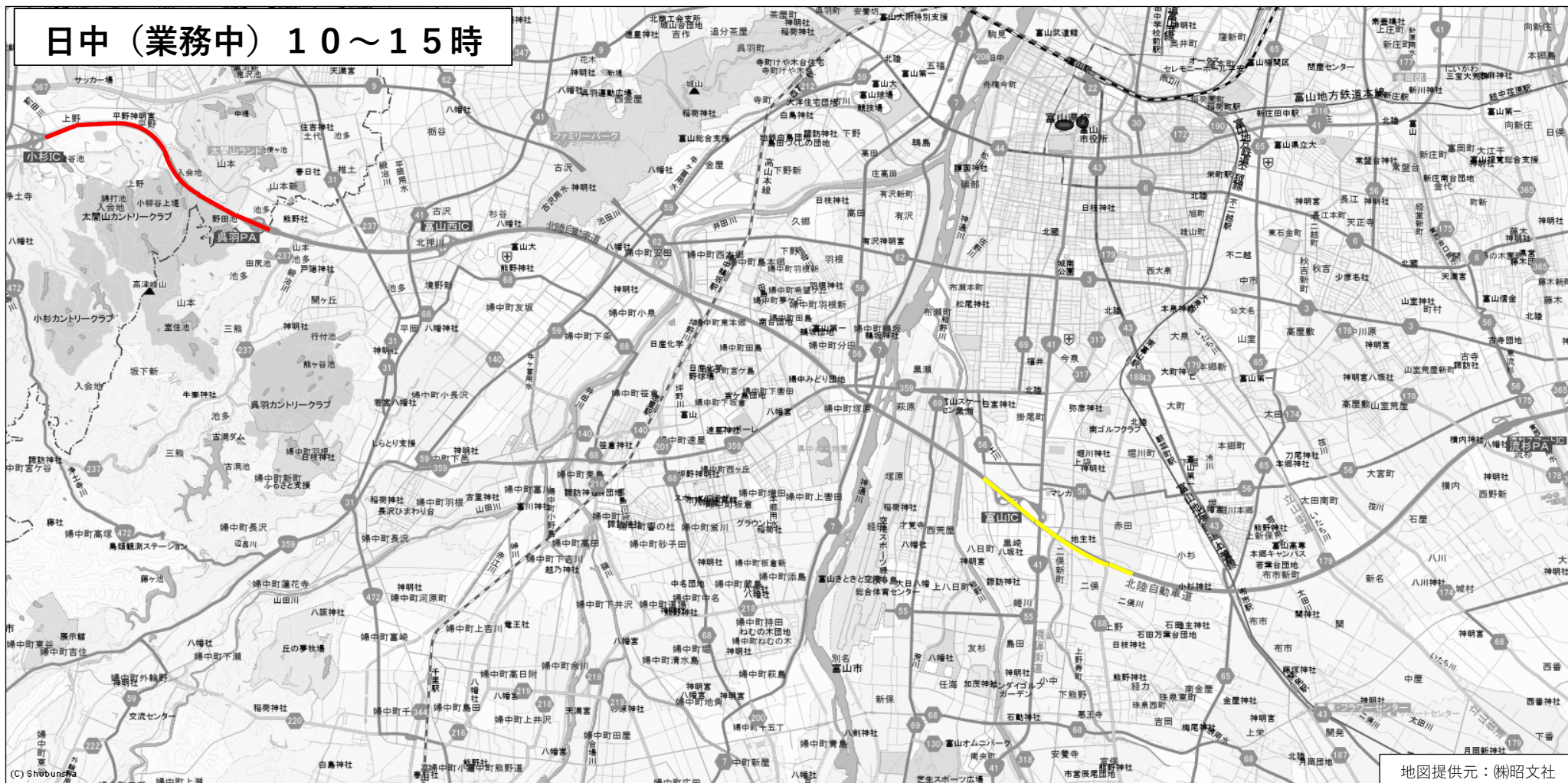
凡
例

	事故多発区間 (10件以上のスリップ事故があった区間)		事故注意区間 (相当数のスリップ事故があって、注意を要する区間)
---	---------------------------------------	---	--

特徴

北陸自動車道 二俣地区～富山ICは、スリップ事故が多く注意を要する。また、呉羽PA～小杉ICは、スリップ事故が多発しており、特に注意を要する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。



■車両スリップ事故発生箇所

凡
例

	事故多発区間 (10件以上のスリップ事故があった区間)
	事故注意区間 (相当数のスリップ事故があって、注意を要する区間)

特徴

北陸自動車道 呉羽PA～小杉ICは、スリップ事故が多く注意を要する。

本マップのスリップ事故は、R2～R6の各年12月から翌年3月までの4か月間の5シーズンを対象期間とするもの。

夜間（帰宅時等）20～翌5時



地図提供元：株式会社